

学 年

2 年

【一次関数】⑧方程式とグラフ(2)

年 組 氏名 _____

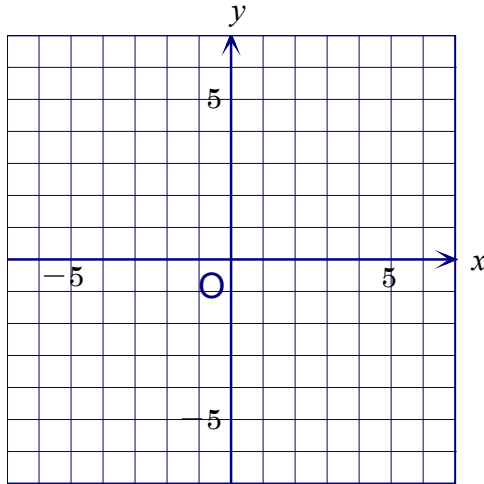
1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} x - 2y = 2 & \cdots\text{①} \\ 2x + y = 4 & \cdots\text{②} \end{cases}$$

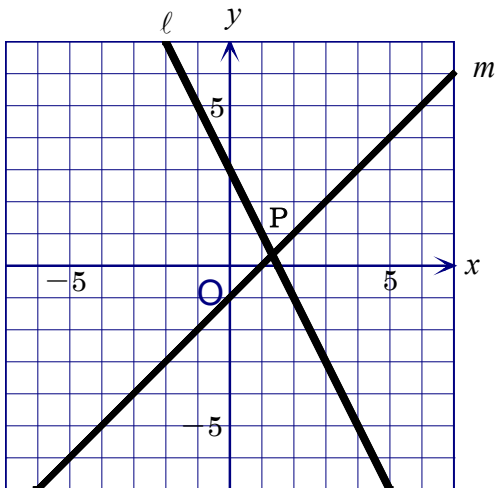
答え $\begin{cases} x = \\ y = \end{cases}$

(2) (1)の2つの方程式のグラフをかき、2直線の交点から解を求めなさい。



答え 交点 (_____ , _____) 解 $\begin{cases} x = \\ y = \end{cases}$

2 次の図で、2直線 l 、 m の交点 P の座標を求めなさい。



答え 交点 P (_____ , _____)

学 年
2 年

【一次関数】⑧方程式とグラフ(2)

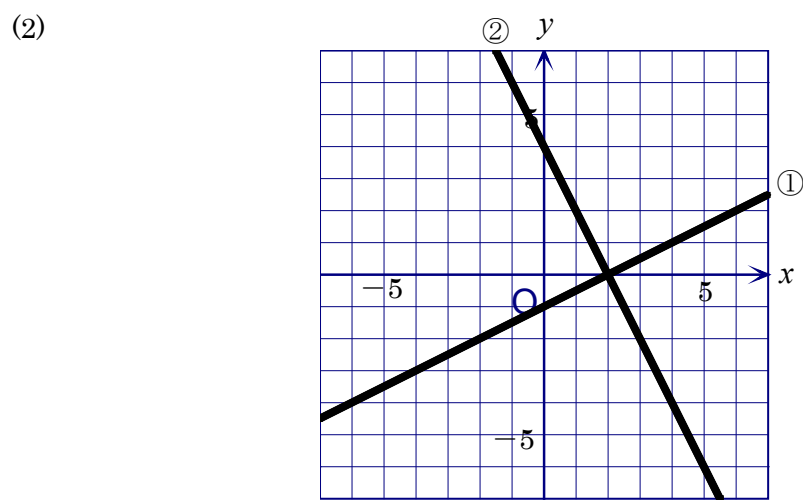
年 組 氏名

[Point]

連立方程式の解は、それぞれの方程式を表す直線の交点の座標と一致する。

① (1)
$$\begin{cases} x - 2y = 2 \quad \dots \textcircled{1} & \textcircled{1} + \textcircled{2} \times 2 \quad 5x = 10 \quad \text{より、} x = 2 \\ 2x + y = 4 \quad \dots \textcircled{2} & x = 2 \quad \text{を} \textcircled{2} \text{に代入して} \quad 4 + y = 4 \quad y = 0 \end{cases}$$

答え
$$\begin{cases} x = 2 \\ y = 0 \end{cases}$$



答え 交点 (2 , 0) 解
$$\begin{cases} x = 2 \\ y = 0 \end{cases}$$

② グラフから直線 l , m の式は、それぞれ、

$y = x - 1 \quad \dots \textcircled{1} \quad y = -2x + 3 \quad \dots \textcircled{2} \quad \text{である。}$

この①と②を連立方程式とみて解くと、

代入法から $x - 1 = -2x + 3 \quad x = \frac{4}{3}$ を①に代入すると、

$3x = 4 \quad y = \frac{4}{3} - 1$ より、
 $x = \frac{4}{3} \quad y = \frac{1}{3}$ よって、解は、
$$\begin{cases} x = \frac{4}{3} \\ y = \frac{1}{3} \end{cases}$$
 なので、

答え 交点 $P \left(\frac{4}{3}, \frac{1}{3} \right)$